

小菅村 

第58号

2022年8月発行

議会だより

発行：小菅村議会

編集：小菅村議会広報編集常任委員会

〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村4698番地

☎ 0428(87)0111 <http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp>



 KO-KOSUGE.JP

星見日和

天気予報が好転しすっきりと晴れ渡る夜。いい星見日和となりました。春先には夜中に起きて天の川の撮影に来ていましたが、22時台に見れる季節となりました。

川池地区にて撮影。

写真提供：小山貴之さん(川池地区在住)

今回から、小菅村の総合情報サイト「こ、こすげえー」の公式Instagramより、村の魅力満載の写真を掲載します。第1弾は、小山貴之さんが撮影した力作です。小菅村ではこんなに綺麗な星空を見ることができます。

目次

- 6月定例会
- 一般質問
- 議会活動報告
- 議会活動状況
- 議会だよりを読んで
- 編集後記

令和4年 6 月定例会で決まった主なこと

令和4年6月20日(月)から6月24日(金)までの5日間の会期で開催されました

審議された議案

- 村長提出議案：…7件
- 議会提出議案：…1件

補正予算

一般会計予算、特別会計予算を可決しました

一般会計補正予算(第1号)

(万円未満四捨五入)

- 補正予算額：1億2,943万円の増額
- 合 計：16億43万円

【主な内容】

- ・ 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金
- ・ 地方創生事業交付金
- ・ 井狩教員住宅工事請負費増額

国民健康保険診療事業特別会計(第1号)

- 補正予算額：534万円の増額
- 合 計：6,744万円

【主な内容】

- ・ 診療所の備品(血液検査機器)購入

行政報告

株式会社源令和4年度事業計画報告

各部門の令和4年度事業計画について報告を受けました

令和3年度一般会計繰越明許費繰越計算書報告

様々な理由により、令和3年度予算を繰越して令和4年度に行う事業について報告を受けました

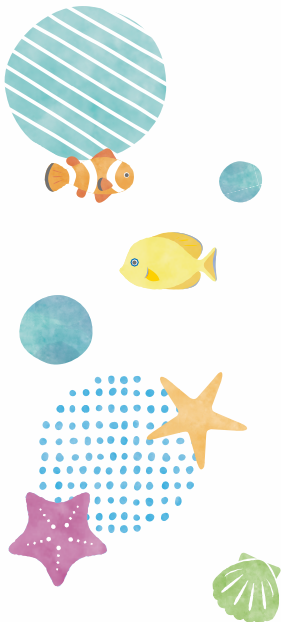
専決処分

3件の専決処分を承認しました

- 小菅村税条例等の一部を改正する条例専決処分の承認を求める件
- 小菅村国民健康保険税条例の一部を改正する条例専決処分の承認を求める件
- 令和3年度小菅村後期高齢者医療特別会計補正予算専決処分の承認を求める件

※専決処分とは、緊急を要するため議会を招集する時間的余裕がなかったため議

会に先立ち地方自治体の長が案件を処分することです。処分後一番近い議会で報告し、議会の承認を得ることになっています。



6月定例会では3名が村政について質問を行いました

一般質問とは、議員が村長等に対して、行政全般の事務の進み具合や将来の方針などの諸問題について質問することです。

一 般 質 問



細川 春雄

答 【教育長】令和4年4月1日現在、小学校29名中14名、中学校16名中9名、どちらも半数以上が源流親子留学生で成り立っている状況である。この源流親子留学を今後も継続しながら児童生徒の確保につなげていきたい。また、Uターン施策が実現できれば住宅難等の問題もクリアできるので、Uターン施策にも取り組んでいきたい。

問 休止している源流親子留学だが、コロナ禍だからこそ積極的に取り組む必要があると思うが？

答 【教育長】源流親子留学を受入れるにあたっては、最低3日くらいの体験入学の実施、またPCR検査の実施等いろいろな制約があり現時点では受入れを見合わせている。

問 山村留学コーディネーターの採用、山村留学連絡協議会等の体制整備を考えているか？

答 【教育長】現在、体制は整えていない。どこまで対応できるか、予算的な問題、採用する場合の人材等の問題もあるので、よく吟味しながら受入れにあたっていきたい。



▲ 多くの方が応援してくれた小学校マラソン大会

人口問題

問 小菅村の人口が、この2・3年の間に減少が加速しているように見えるが？

答 【総務課長】高齢化率46.3%である本村は、今後も自然減による人口減少が進み、社会増による人口の増加に転じさせることは容易ではないが、総合計画を基本に様々な施策を展開し、人口減対策について取り組んでいきたいと考えている。いずれにしても、人口減少に歯止めをかけることは喫緊の課題として捉えている。

問 令和元年度頃の人口が微増していた時と同様に地域おこし協力隊の増員、移住希望者の増加、知名度アップ等の施策をコロナ禍でありながらも再度展開していくことが必要であると思うが？

答 【村長】協力隊採用については、近年は本来の目的とのマッチングができていない状況にある。誰でもいいからおいでという時代は終わったと考えている。本当の小菅村の魅力を理解していただける方にきていただきたいという思いはある。今後ぜひ様々な方々と意見交換していきたい。

問 小菅村でもリモートワーク等で仕事ができる時代になった。二拠点居住を推進していく考えは？

答 【村長】空き家対策を含めて受け入れるキャパシティがないのが現状である。空き家対策の補助金を増額したが今のところ活用される方が少ない。新しい形を模索していかなければならないと感じている。

教育問題

問 数年後の小学校児童数の推移をみると、十数名と予測されている。非常に危機感を感じている。児童生徒数の減少対策として、今後どのようにしていくのか？

一 般 質 問

問 エアコンは整備される予定か？

答 【教育課長】積算に含めている。

問 小学校教員住宅の改築工事の計画はあるのか？

答 【教育課長】小学校教員住宅は中学校教員住宅の翌年度に建てられた建物であり、ほぼ同様に老朽化が進んでいる。教職員の居住環境に格差が生じないように、可能であれば、令和5年度にリニューアル工事を検討させていただきたい。

日本一美しい村づくり

問 桜の木の手入れの計画はあるか？

答 【村長】国道沿いの桜は傷みがひどく、県にお願いして伐採していただいた。その後捕植をしようと考えたが県の指導により対応することができなかった。今後、クリーングリーン作戦協議会のご意見を伺いながら、違う場所も考慮して捕植していきたい。

問 美しい村づくりのために植樹や維持管理等を行う計画があるか？

答 【源流振興課長】クリーングリーン作戦協議会の委員さんの方々と協議してまいりたい。特に紅葉は十数年前、村民主体のボランティア団体、花と緑の郷づくり協議会により道路沿いに植栽がされ順調に生育している。またクリーングリーン作戦協議会の活動の一つとして、草刈り等を必要に応じて実施している。桜同様、次の世代に残すべき大事な紅葉と捉えて、引き続き維持管理をしていきたい。

● このほか旧消防庁舎について質問しました。



木下 善満

中学校教員住宅の改築

問 中学校教員住宅改築工事の予算は？

答 【教育課長】事業予算として当初予算に設計業務委託費に750万円、工事費に7,500万円を計上させていただいているが、その後各種物価上昇が続いているため、本定例会で増額補正を提案させていただきたい。

問 工事期間と契約会社は決まっているのか？

答 【教育課長】設計業務については、建設技術センターによる既存建物の現地確認を終え、積算に関する助言と指導を受け、事業者の選定及び契約に向けて準備を進めている。設計業務は8月中旬の完了を目途に契約を予定している。設計業務が完了次第、入居者の移転と併せてリニューアル工事の入札を予定している。工期については10月初旬の着工、来年3月中旬の完成を計画している。



▲ リニューアルを予定している井狩教員住宅

一 般 質 問



古家 静男

ふるさと納税の返礼品の一つを作成したりしている。また男性も6～7名のグループができている。先日、その方々と意見交換をしたが、現役を退かれた方々の視点で意見や要望を述べ合い、昔に返ったようで、大変素晴らしく感じた。女性の皆さんも元気よく、「集まり、会話をする」ということがとてもよく、皆さんから喜ばれていると聞いている。



▲ タマリバ広場 味噌づくり

問 今後社会福祉協議会、あるいはきぼうの館を運営していく上で、働く方々の人材確保に対してどのように考えているか？

答 【村長】職員の採用については、やはり計画的にしていかなければならない。退職してから採用するよりは、年齢をある程度把握しておきながら、中途採用をしたり、計画的に職員配置できるようにしていきたい。

問 人材確保という観点から、パート、専門職においても給与単価が低いと思う。難しい問題であるが値上げはできないか？

答 【村長】社会福祉協議会において、役員会、理事会があるので、その場で協議していきたい。先ほどの年齢の問題等々も併せて、社会福祉協議会の課題として、今後検討してまいりたい。

お年寄りへの村と社会福祉協議会の対応

問 村でも独居、あるいは夫婦で暮らしている高齢の方が多く見受けられる。その子どもたちは他市町村で働いている方がほとんどである。これから介護の世話になる中で、入所手続き等についてあまり知識がなく心配している方が多いと聞か、もっと広く広報してもらいたいと思うが。

答 【村長】認定業務については、社会福祉協議会が主に行っている。村の3分の1が老夫婦世帯という状況の中、介護について不安なところがいっぱいあると思う。村、社会福祉協議会において介護相談をはじめ、いつでも、誰でも相談に応じる体制は整っている。この体制に漏れがあれば、検討していくのでお知らせいただきたい。

問 施設入所について、現在29名の方々が入所されていると聞か、莫大な費用を村で負担しなければならない現実がある。今後その前段の介護予防の考え方が非常に重要になっており、村、社会福祉協議会の取り組みをもう少し宣伝したほうが良いと思うが。

答 【村長】年々施設入所者は増えており、非常にお金がかかっている。認定についての特定制度や、村で生まれ育った皆さんなので、お金がなくてもやることはやらなければならないと考えている。今後はいかに事前の介護予防をしていくのが大切である。その辺のPR不足は感じているので、もっとPRをしていきたい。今後は社協だよりを充実し、さらに村としても広報等を使って、制度設計などしっかりと周知を図ってまいりたい。

問 旧診療所で行っている「つながるキッチン」の内容は？

答 【村長】現在5つのグループが曜日を覚えて活動しているようである。畑仕事を手伝ったり、

小菅小学校6年生 議会傍聴

6月定例会会期中、小菅小学校6年生が社会科学習「わたしたちの暮らしを支える政治」の授業の一環で、議会の傍聴の時間がありました。質疑をとても熱心にメモを取っている姿を見て、私たちもいつも以上に気持ちが入りました。

休憩中には特別に議場に招き、議長席や議員席に座り雰囲気を感じてもらいました。この見学を機に、将来の小菅村を担う子どもたちと交流を図っていきたいと思いました。(舩木喜康)

子どもたちの感想を紹介します。

・私は議会を見て、学校の話し合いとは違って、難しいことをたくさん言っていたと感じました。何回も質問して、それにいろいろな人が答えて、60分くらいにもなるなんてすごいと思いました。また、大事な話ということがたくさん伝わってきました。

・村のために人口を増やそうということと言ったのが凄いと思った。680人を目標にしていることや、空き家の改修をしようしていることがわかった。



▲ これからも交流していきたいですね



▲ 議場の雰囲気はどんなかな？

今川トンネル実現へ一歩ずつ前進

「市川正末県議 県議会で今川トンネルについて一般質問」

6月10日(金)山梨県6月定例議会において、市川正末県議会議員が一般質問を行うことに伴い、村議会6名で傍聴に行きました。当日は市川県議から県東部地域の道路整備について質問され、特に県道上野原丹波山線、今川トンネルの必要性について県の考えを問いました。

その中で、山梨県県土整備部長より、「トンネル整備を含めた、整備の妥当性について調査する」との前向きな答弁がされました。



「県道上野原丹波山線・今川トンネル建設促進期成同盟総会開催」

7月4日(月)3年ぶりに「上野原丹波山線今川トンネル建設促進期成同盟会」「主要地方道上野原丹波山線道路整備推進連絡協議会」定期総会が上野原市もみじホールにて対面開催されました。

現在今川峠は、丹波山村地内の国道411号が全面通行止めになっていることから、迂回路として通行量が増加しています。それによる交通事故の増

加、また緊急車両の移動時間の短縮等、今まさに今川トンネルの早期実現が求められており、これからも引き続き、山梨県等関係機関への働きかけを強めていくこと、議員の役割の重要性が再確認された総会となりました。(古菅立身)



水源の森再生プロジェクト 植栽ボランティアに参加しました！

5月21日(土)多摩川源流大学が実施している「水源の森再生プロジェクト」に議員全員で参加しました。

この活動を通して、山と向き合う考え方にとても共感しました。今回は多摩川源流大学、青山大我さんにこの取り組みを紹介いただきます。

小菅村の山林は、約120年前から東京都によって多摩川の水源林として、管理保全が行われてきました。約60年前からは針葉樹(スギ、ヒノキ)が植樹され、小菅村の山も人工林の山へと変化しました。

針葉樹人工林は地中の保水機能も弱く、また一年中茂る葉が林床を暗くして草も低木も育たないため、山全体の水源涵養力の低下を招いています。源流域の森がまだ豊かな広葉樹の森であった頃、昔の人たちは森林経営と開発を一体とした、自然と共生する土木造作を行っていました。

例えば、小菅村の「わさび田」は源流の森に囲まれた冷涼な沢の水が、わさ



▲ 5種類の苗をまとめて植樹しました



▲ 豊かな森になりますように

び田全体を潤すことで良いわさびが生産されています。わさび田からはそうした山と向き合いながら営んできた土木造作を学ぶことができます。しかし現在ではそうした山や自然に対して向き合う姿勢は失われてしまっています。自然災害が後を絶たない現代においては山の環境再生は急務です。

本プロジェクトでは、かつての「山と向き合いながら行う土木造作」をもう一度甦らせ、針葉樹人工林を落葉広葉樹の入り混じる混交林に戻していきます。

「自然と共生する昔の知恵に学び、山を育て、自分を育てる」

自然を読み解く観察力を身につけ、日本各地で環境再生を指導する人材を、養成していきます。

5月21日(土)に開催した植樹イベントでは、小菅村議会議員や小菅村のご家族など合計20名以上の方にもご参加いただき、広葉樹18種類765本を植樹しました。コナラやクヌギ、モミジなど小菅村に自生し、環境に適した樹種を選んでいます。樹高が20mを超えるこれらの樹種を植えることで、10年後、20年後に水源涵養力のある針葉樹と広葉樹の豊かな森となることを目指しています。



▲ 当日は50名以上のボランティアが参加しました



▲ 昔の石垣について説明いただきました

議会活動状況

令和4年3月～令和4年5月

3月

2日(水)	議会運営委員会 委員長以下3名、正副議長出席
8日(火)	小菅中3年生総合的な学習の時間 発表会 議長以下7名参加
8日(火) 11日(金)	3月定例議会開会 議長以下7名出席
10日(木)	小菅中学校第75回卒業式 議長以下7名出席 企業誘致等における意見交換会 議長以下7名出席
11日(金)	増田医師退職送別式 議長以下7名出席
17日(木)	小菅村社会福祉協議会理事会 議長出席
18日(金)	小菅小学校第147回卒業式 議長以下7名出席
24日(木)	上野原市正副議長来村 正副議長対応 丹波山村正副議長挨拶 正副議長出席 奥多摩町正副議長挨拶 正副議長出席
25日(金)	小菅村国民健康保険運営協議会 議長、中川議員出席
29日(火)	富士東部広域環境事務組合全員協議会 船木直光議員出席
30日(水)	第57号議会だより第1回編集会議 委員長以下3名出席
	イトザクラ植栽 議長、船木直光議員出席
	富士東部広域環境事務組合議会定例会 船木直光議員出席
	小菅村消防委員会 船木喜康議員、木下議員出席
	小金沢土室山恩賜県有財産保護組合議会 議長、船木喜康議員、船木直光議員出席

4月

1日(金)	小菅村消防団任命式 議長、船木喜康議員出席
7日(木)	小菅小・中学校入学式 全議員出席 議会全員協議会 全議員出席
8日(金)	南北都留郡町村議会 正副議長連絡協議会総会 正副議長出席
19日(火)	第57号議会だより第2回編集会議 委員長以下3名出席
28日(木)	第1回町村議会広報委員長会議 委員長出席

5月

17日(火)	第1回町村議会議長会議 議長出席
20日(金)	小菅村商工会第43回通常総会 議長出席
21日(土)	東京農業大学宮林教授との意見交換会 全議員出席
26日(木)	水源の森再生プロジェクト植樹イベント 全議員出席
28日(土)	小菅村社会福祉協議会決算監査 副議長出席 自治功労者表彰式及び町村議会議員研修 議長、細川議員、中川議員出席
30日(月) 31日(火)	町村議会議員政策研修会 全議員出席 町村議会議長・副議長研修会 正副議長出席

議会だよりを読んで

木下 幸恵 さん (橋立地区在住)

厳粛な雰囲気の中、議長の言葉で始まり3名の方が質問をされました。
様々な視点から、沢山の議論を目の前で聞くことができ、とても感慨深い思いでした。
その日は、小菅小学校6年生の児童も傍聴に居られました。
丁寧にメモを取り真剣に聞いている姿を拝見し、「小菅村の未来は明るい!」と確信しました。

編集後記

6月定例議会には、女性の会、小菅小学校6年生の傍聴がありました。
私たち議員一人一人、また村長、行政職の人たちも緊張した面持ちで臨んでいました。(真剣さが伝わったら有難いのですが...) 今後も読まれる議会だより発行に努めてまいります。(議会広報編集委員長 古家静男)

議会広報編集 常任委員会

委員長：古家 静男
委員：古菅 立身
委員：船木 喜康